厚沢部町
Assabu Town

厚沢部町報告

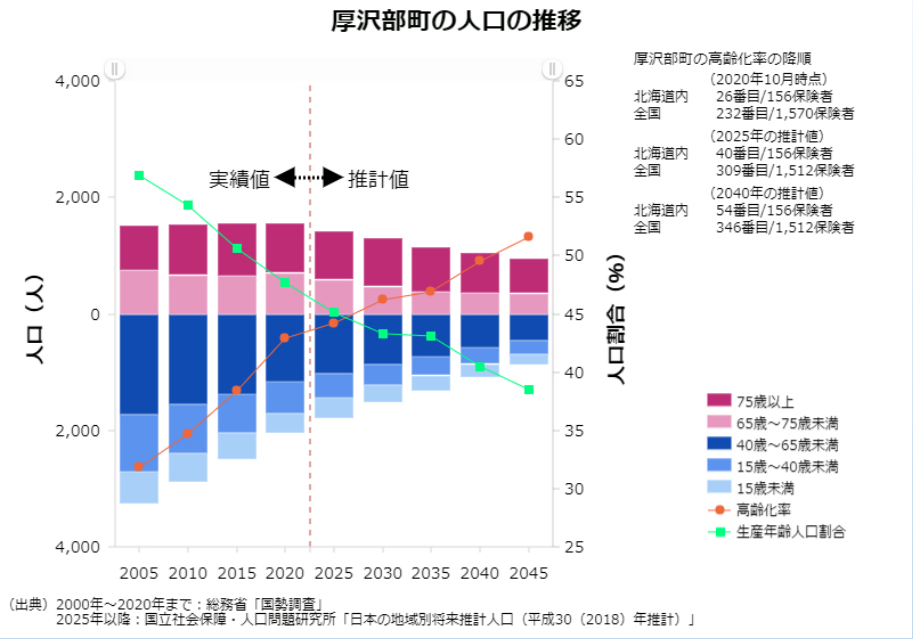
函館脳神経外科病院
作業療法士　西 晃司

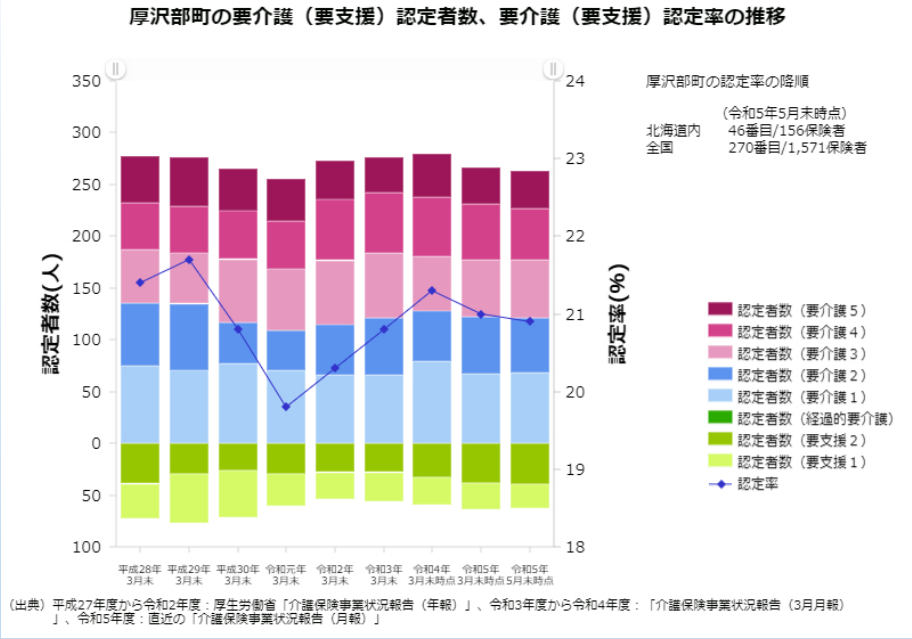
厚沢部町とは

・檜山郡に位置する江差町、乙部町に隣接する総人口3432人の町。
・地元のメークインを使用した巨大コロッケのギネス世界記録。

介護関連情報

施設系サービス：3件　　居住系サービス：3件　　在宅系サービス：7件





［出典］地域包括ケア「見える化」システム　（令和5年8月28日取得）

厚沢部町
介護予防・日常生活支援総合事業

・～2023年5月：函館市内の民間病院と契約
　2023年6月～：HARPと契約（理学療法士、作業療法士）

・訪問による個別対応。頻度は月1回（PT、OT）

・1日の訪問件数　理学療法士10～13件（要支援2～要介護5）
　　作業療法士5～6件　　(要支援2～要介護5）

・保健師と同行

HARP契約前の状況

運動指導

・ROM
・介助歩行

生活指導

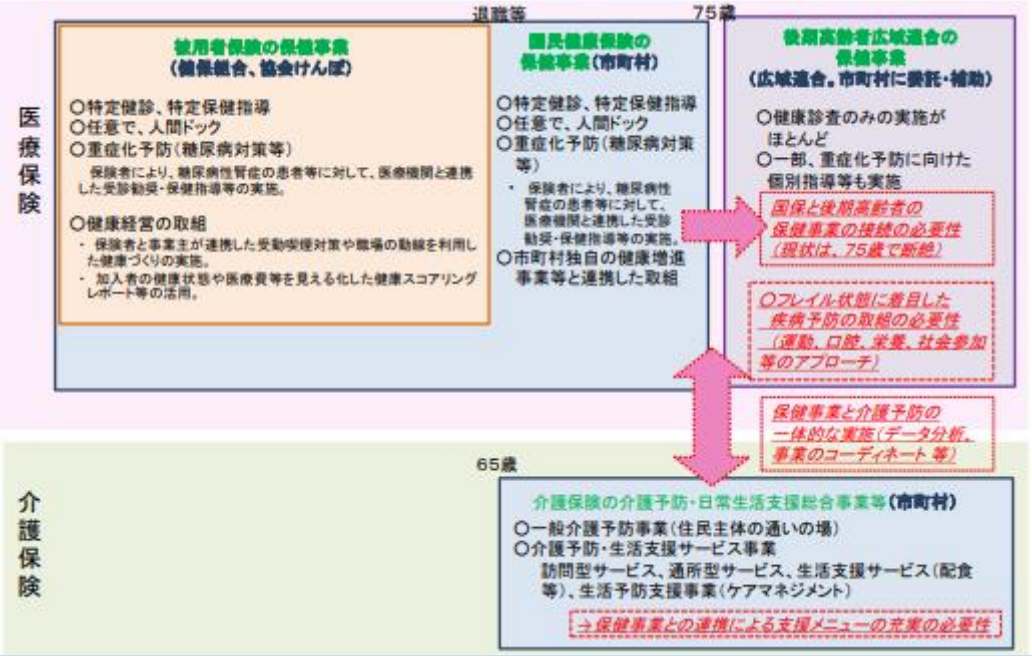
・対象者の趣味などの作業活動への補助
・スケジュール管理などを目的とした高次脳機能へのプリント課題
など

介護予防・日常生活支援総合事業や保健事業では①

対象者の医療面、健康状態を熟知し、必要な治療や介護に振り分け、繋げることができるコーディネートを行う医療専門職の役割が重要となる

リハ職種が適切な評価を行い、必要に応じた中継役を担う

介護予防・日常生活支援総合事業や保健事業では②



複雑な高齢者像に対応するために、保健事業と介護予防事業が一体化した経緯がある

非接触型の支援が基本である

日常生活支援総合事業の一環である保健事業ということもあり「医療」とは異なる位置づけである

課題の整理

PT、OTともに個別の関わりであり、
リハ職種が適切な評価を行い、必要に応じた中継役を
担うという視点が不十分であった可能性がある

「医療」との位置づけの違いの理解が不十分であり、
医療現場でのリハビリテーションで行われているような
内容を提供していた

対象者のニーズを
しっかりと把握する

地域の社会資源、対象者の課題やニーズ、
必要な社会資源などをアセスメントすることが重要

地域包括支援センター、他職種と
セラピストの情報共有

↓

高齢者が自ら進んで事業や介護予防の活動に継続的に参加し、
自分らしい生活を維持できるようにする必要が
今後の厚沢部町HARPでの課題。

課題やニーズを共有し、互いの役割を理解し、
信頼関係を築いていくような働きかけが
重要となる。

今後の展望

・改めて介護予防事業の理解と内容の共有をしていく必要がある

・今後新規の対象者がいる場合は対象者を地域が選択していく必要もある

↓

現状の把握、事業の振り返り、健康の課題の抽出、健康課題と対象の明確化をしっかり行う必要大。

ご清聴ありがとうございました